

# 拡大するお一人様経済

岡山県上海事務所

中国では、一昔前までは一人暮らしや一人での外食、行動をする人はとても稀でしたが、この数年でお一人様を謳歌する独身成人が増えています。民政部の発表によりますと、成人独身人口は2億人以上、平均結婚年齢は27歳まで上がっており、一線都市の結婚年齢は更に遅く、30歳となっています。日本でも晩婚化、生涯独身人口の増加が問題となっていますが、同様な現象が今中国でも始まっています。

晩婚、生涯独身による少子化問題の反面、独身の人々におけるクオリティ重視のライフスタイルやハイクオリティ商品を崇める消費スタイルが新たなビジネスチャンスを生んでいます。

以前は家族や親せき、友達との共同生活を送っていた多くの独身成人も、収入が上がり、一人暮らしをする人が増えています。それに伴い、電化製品の小型化も進んでいます。また、お米や油など、ファミリーサイズが当たり前だった食品なども小袋化しています。

中国最大の小売りECサイトがこのほど発表した統計データによりますと、小型電子レンジの販売量は980%、小型洗濯機は630%、一人用鍋は210%増加しています。こうした「お一人様」商品が次第に新たなトレンドとなっており、「お一人様経済」は決して侮ることができない消費力となっています。

一人暮らしの人は家具や家電に心地よさとこだわりをより追及し、食事も健康とエコを重視します。フードデリバリーの利用者の60%は独身の若者との統計もあり、食事を作る手間、時間をかけないのも特徴です。飲食店でも一人で食事をする人を、以前よりたくさん見かけるようになりました。とある火鍋屋では、お一人様の来客が寂しくないよう、向かいの椅子にぬいぐるみを置いてくれるサービスもあります。

娯楽面でも、ジムに通う、映画館での映画鑑賞、小型のスピーカーと小型プロジェクターで自宅での映画鑑賞、旅行も1人で楽しむ人が増えています。

また、一人暮らしでペットを飼う独身成人は自分よりもペットにお金をかける人も少なくありません。

このように、これまで需要がなかったサービスや商品を、豊かになったことにより人々が望むようになりました。急速な中国の発展は経済だけではなく、人々の価値観にも影響しています。日本には「独身貴族」という言葉がありますが、今後中国の「独身貴族」が消費を押し上げる主力となり得るでしょう。